

# トラウマ・ケアの新しい潮流 ～身体志向の心理療法～



日時: 2017年10月22日(日)

午前の部 10時～12時 (会員・非会員)

講師: 甲南大学文学部 教授 福井 義一先生 (臨床心理士・専門健康心理士)

身体志向のトラウマ・ケアを専門領域とし、EMDR Institute認定トレーナーとファシリテーター、TFTトレーナー、Somatic Experiencing個人コンサルト・プロバイダ、日本臨床催眠学会臨床催眠指導者資格などをお持ちで、自我状態療法のトレーナーでもあります。トラウマの影響とトラウマからの回復について実践的研究も豊富で、臨床家としてトラウマ・ケアの最前線で御活躍されている先生です。

今回は、トラウマの基本的な理解と、トラウマからの回復が可能であること、それには様々な身体志向の心理療法が有効であることをお話しいただきます。それぞれの技法について、その特徴と使い分けを学ぶことは、トラウマ・ケアに興味関心のある方々にとって有益な時間になるでしょう。最先端のトラウマ・ケアについて和歌山で学べる、貴重な機会です。どうぞ奮ってご参加ください。

午後の部: 分科会 13時～16時 (会員のみ)

## 1) トラウマ・ケアの理解と実践

近年、自然災害や凶悪犯罪等、人々の心身を傷つける事柄が、多々発生しています。そのようなときに注目されるのが、いわゆる「心のケア」です。臨床心理士がその社会的なニーズに応えるためにも、専門家として緊急支援や災害支援のスキルと実践力を身につけておく必要性は大いにあります。また、このような知識やスキルは、日常の心理ケアにも応用できると思います。今回は、被害者支援理事3名が、トラウマ対応の知識を元に、具体的な実践やケアの方法を中心に、即実践に活かせる内容の分科会を用意しました。※災害時支援に派遣された時の一般的な注意事項(役立つ持ち物含む)についてもお伝えします。

## 2) WISC-IV事例解説検討

子どもの特徴を知る手がかりとして、発達検査や知能検査を参考にすることは多いと思われます。しかし、結果を適切に読み取れなければ、その子に合うサポートにはつながりません。今回、現場でよく参考にされるWISC-IVについて、愛徳医療福祉センターの木下聡士氏が、基本的な読み取り方をお話し、その後、事例を通してみなさんと一緒に支援方法を考えたいと思います。

場所: 和歌山県子ども・女性・障害者相談センター 3階多目的ホール(和歌山市毛見1437-218)

定員: 100名

会費: ¥1000(当日会場で徴収・会員、非会員共に¥1000。会員の午前のみ参加も同額)

申込み先・担当者: 和歌山県子ども・女性・障害者相談センター 白石 裕也 shiraishi\_y0003@pref.wakayama.lg.jp

申込方法: ①～⑤を記入の上、事前にメールで申し込みください。10月13日(金)締切

①氏名②所属③職種(臨床心理士は、臨床心理士番号)④和歌山県臨床心理士会の会員or非会員

⑤どの分科会に参加するか(会員で1日研修に参加される方のみ)

お申込みされた方に、確認のメール返信を致します。10月16日(月)を過ぎても返信がない場合には、恐れ入りますが、連絡ください。

\* 本会員で全日程参加者は、臨床心理士資格ポイント付与の対象となります。

\* 午前のみ、非会員・臨床心理士以外のトラウマ・ケアに従事されている方や興味のある方々も、ご参加いただけます。

\* 会場付近には昼食を取れる場所がありませんので、各自持参お願い致します。